

南仏プロヴァンスの洞窟（9）

～フランスの洞窟銀座、アルデッシュ渓谷～

本多力 (HONDA, Tsutomu NPO 法人火山洞窟学会所属 東京都在住)

1. はじめに：

アルデッシュ渓谷は川の両側が切り立った石灰岩の台地となっており、フランスの洞窟のメッカであり銀座通りとも言える広大な石灰岩地域である。



図1 アルデッシュ渓谷の切り立った崖

エクスアンプロヴァンスからアヴィニオン、オランジュをへて、ボレーヌで高速を降りてローヌ川を渡りポンサンテスプリにむかいローヌ川にそって少し上ってサンジュストからあるいはその少し前から石灰岩台地と渓谷のアルデッシュに向かう。

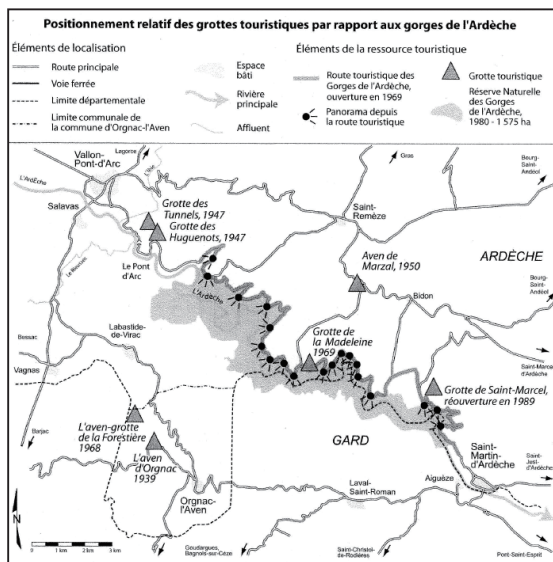


図2 三角形の印が観光洞窟を示す

エクスアンプロヴァンスから片道2時間であり、日帰りゆける場所である。

洞窟ガイド氏の話によると今までこの地域で発見された洞窟は700あるという。

アルデッシュ渓谷を右側からさかのぼってゆくと、サンマルセル洞窟、マドレーヌ洞窟、マルザル洞窟、

ユグノー洞窟、チューネル洞窟、さらに有名なボンダルクを過ぎて対岸に渡るとフォレストイエール洞窟、オルニャック洞窟、など7箇所ほど観光洞窟あり全洞窟の百分の一にあたる。

また、アルデッシュ渓谷には、多くの洞窟壁画が発見され



図3 天然の橋ボンダルク

て話題になったショベ洞窟も近傍にあるが一般に開放されてはいない。アルデッシュ渓谷散策しているとよくアルデッシュラマというのに出くわすことがある。この地域は保護された国立公園となっている。



図4 自動車道を横切るアルデッシュラマ

サンマルセル洞窟、ラマドレーヌ洞窟、マルザル洞窟、ユグノー洞窟、チューネル洞窟、フォレストイエール洞窟などは冬季は閉鎖されて入れ

ない。唯一通年で開かれているのはオルニャック洞窟のみである。今まで何回かアルデッシュ渓谷を訪れたのでそれぞれの洞窟について報告する。

2. サンマルセル洞窟：

サンマルセル洞窟は総延長は50 kmといわれ(ウェブの測量図参照：測量図と内部の写真：http://speleoressac.free.fr/cavites/stmarcel/stmarcel_topo/topo.htm)、その入り口は、自然洞口が三箇所、半自然洞口が一箇所、観光のための人工トンネルによる入り口が一箇所ある。自然洞口のうち2箇所はサイフォンがあるため潜水が必要である。観光洞窟部分にはいるトンネルの入り口は受付の建屋の中にある。

サンマルセル洞窟は測量図にみるように大規模な洞窟である。

地下鉄のトンネルより大きな地下水路、バラエティーに富んだ内部構造物、ギャラリーがよく発達していて大規模な洞窟である。水流による天井や側壁のエロージョンがよくわかり水力学的に興味のわく洞窟である。洞内構造物もいろいろあり、秋芳洞を思い出させる。